

令和3年 10月 6日(水) 中央学校給食センター

【献立名】 秋なすのカレーライス 牛乳 海藻サラダ キウイフルーツ



【ひとロメモ】

なすについて知ろう

(食事と文化)

今からクイズをします。新年に見る夢は初夢と呼ばれており、富士山や鷹を夢で見ると縁起が良いといわれています。あと一つ初夢で見ると縁起が良いとされる食べものは次のうちどれでしょうか。

①にんじん ②なす ③じゃがいも 正解は②のなすです。

なすはインドが原産といわれる野菜で、今から約1400年も前から日本で食べられていたそうです。クイズにあった「一富士二鷹三茄子」ということわざのように、日本には「なす」という言葉が使われることわざがたくさんあり、長く日本人に親しまれてきた食べ物であるということがわかります。他にどんなことわざがあるか調べてみても面白いですね。

なすは6月頃から収穫されますが、その中でも9月以降に収穫されたなすを「秋なす」といいます。秋は昼と夜の温度差が大きくなるので、実が引きしまり、よりおいしくなります。

今日は秋なすをカレーに入れました。味わって食べましょう。

令和3年 10月 6日(水) 第二学校給食センター

(献立名) くりごはん 牛乳 かつおのじぶ煮 切り干し大根の酢の物
かきたま汁



【ひとロメモ】

季節の食べ物 栗を知らろう

(食文化)

栗にまつわることわざに 「桃栗三年柿八年」という言葉があります。

意味は、芽生えのときから桃と栗は三年、柿は八年かけて実ができます。つまり何事も成果が上がるまでにはそれ相応の年月がかかるという意味です。

別のことわざに「石の上にも三年」とあるように、どんなに苦しくても目標に向かって粘り強くがんばっていけば、その先には必ずむくいがあるものだということをこのことわざが教えてくれます。

実際は、桃は2～3年、栗は3～4年、柿は4～5年で実をつけるそうで、「三年」や「八年」という期間は語呂合わせで選ばれたようです。

しかし、おいしい実を収穫するためには、農家の方は、肥料やり、せん定、草ぬきなど本当に手間をかけています。

今日は栗ごはんです。長い年月がかかって実になった栗を味わっていただきましょう。

令和3年 10月 6日(水)

飯山学校給食センター

【献立名】秋なすのカレーライス

牛乳 海藻サラダ

キウイフルーツ

《今日の丸亀産の食材》

にんにく キャベツ なす
じゃがいも 玉ねぎ きゅうり



【ひと口メモ】

秋なす

(勤労と感謝)

今日のめあては、「秋なすについて知ろう」です。

なすはインドが原産とされる野菜で、今から約1400年前には日本に伝わってきて、食べられていたそうです。

なすの旬は、一般的には7月～10月と言われていますが、今の時期に収穫される秋なすは昼と夜の温度差が大きくなることから、実が引きしまって小ぶりで、よりおいしくなります。

今日は丸亀市でとれたなすを、調理員さんが丁寧に切って、皆さんの大好きなカレーに入れました。たくさんのおかげでおいしく食べられることに感謝していただきますよう。